

政策対話（林務部）の概要

1 テーマ

「今後の森林づくりや多面的な森林利用の方法」

2 実施概要

(1) 日 時

令和4年10月16日（日）14時45分から16時15分

(2) 場 所

佐久大学（佐久市岩村田 2384）

(3) 参加者

一般参加者：20名（森やみどりのある空間が好きな方・暮らしに木を取り入れることが好きな方・森林・林業に興味がある方）

県側：9名林務部長、林務部次長、信州の木活用課長、鳥獣対策室長、若手技術職員

3 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方	令和5年度予算への反映
1 多面的な森林の利用について、どのような活用が考えられるか	・水源かん養、災害防備などの防災としての役割としての活用 ・木材生産、ジビエ・山菜といった食の観点での活用 ・キャンプ、トレイルランなど、日常とは異なる非日常を体験できる場やや、遊びの場として活用	【県民の暮らしを守る森林づくり】 森林が有する公益的機能が高度発揮されるよう、必要な森林整備を引き続き、進めてまいります。 【持続的な木材供給が可能な森林づくり】 安定的な木材流通体制の構築や、林業の担	森林サービス産業総合対策事業 【25,854千円】 様々なアイデアで森林を活用したビジネスを展開する森林ベンチャーの支援などにより、森林空間を健康や教育、観光などの多様な分野で活用する森林サービス産業を振興するため、市町村等が行う施設整備や活動を支援すると

<p>2 今後どのような森林づくりを進めてくべきか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災機能を強化するための森林づくり ・なりわいとして木を活用するための森林づくり ・人を呼べる森林づくり 	<p>い手の確保・育成についての支援策を検討してまいります。</p> <p>【県民が森林の恩恵を享受できる森林づくり】 多くの人が親しむことができる里山の仕組みづくりの検討を進めてまいります。</p>	<p>もに、質の高いサービスを提供できる人材を育成します。</p> <p>ウッドもつとつなぐ事業 【7,000 千円】 社会情勢に左右されにくい木材流通体制を構築し、県産材製品の需要拡大を図るため、「信州ウッドコーディネーター」を配置し、木材加工事業者における水平連携や、川上から川下までの垂直連携をサポートするとともに、県産材製品のPRや販路開拓を実施します。</p> <p>信州の森林で働く人材確保推進事業 【27,596 千円】 新たに県内の林業に従事する県外からの移住者や他産業からの転職者の就業を促進します。</p> <p>開かれた里山の整備 【55,590 千円】 より多くの県民が里山の森林に親しむことができるようにするため、里山を適切に管理し、安全かつ効果的に利用できる仕組みを構築するとともに、地域住民等が行う森林整備に係る経費の一部を支援します。</p>
-------------------------------	---	---	---